

平成26年第3回吉田町議会定例会 一般質問通告

1	議席番号 1 番	増田 剛士 議員	開始予定時刻 9月18日 午前9時
<p>【都市計画公園、緑地等の整備について】</p> <p>第4次吉田町総合計画後期基本計画の「第4章都市整備、第3節自然豊かな憩いの場を創出する」の中で、目指す状態として「水と緑と花に囲まれた潤いのあるまち」が挙げられている。</p> <p>現在の都市計画公園、緑地等の整備状況と今後の方針について質問する。</p> <ol style="list-style-type: none">1 総合計画の中で、公園や緑地が充実していると思うという住民意識調査の割合は、平成22年度が38.1%であり平成27年度の目標値は49.0%である。目標値達成の見込みとその施策は。2 町の統計要覧平成25年版によると都市計画公園の都市計画決定面積と供用済面積の差が大きい公園がある。(能満寺山公園、大井川清流緑地)今後の供用見込みと計画は。3 公園、緑地などの整備計画を策定する際は、住民が積極的に整備計画の立案や整備後の維持管理活動に参加する仕組みが必要と総合計画にあるが具体策は。			

2	議席番号 4 番	平野 積 議員	開始予定時刻 9月18日 午前10時
<p>【吉田町の学力向上策について】</p> <p>平成25年度の全国学力テストで、静岡県の小中学生国語Aの平均正答率が全国最下位であったことを契機として吉田町においても学力向上策が進められています。</p> <p>その進捗状況および方針について以下に質問します。</p> <ol style="list-style-type: none">1 平成26年度の全国学力テストの吉田町の学校別結果を公表するか、しないか。2 昨年11月に発足した吉田町学力向上委員会は今も存在しているか、いないか。3 吉田町ラーニングプランにおいて、どのような施策を行っているかを町民に対して公表するか、しないか。4 家庭学習強化に関して、教育委員会の方針はあるか、ないか。5 教育委員会は現場観察をやっているか、いないか。			

3

議席番号 9 番

大塚 邦子 議員

開始予定時刻

9月18日 午前11時

【飼い主のいないねこの現状と対策について】

わが町では、平成23年4月から、飼い主のいない猫の不妊去勢手術費補助制度が創設され、3年が経過した。

創設のきっかけは、平成22年12月議会の私の一般質問『飼い主のいないねこの適正保護と管理について』だったが、ねこは年に2～3回、出産し、一回に4～8匹生まれ、3年で3,000匹になる計算である。

そこで、補助制度の効果と課題について、また、飼い主のいないねこを減らす対策について以下、町長に質問する。

- 1 飼い主に対して『室内飼い』や『不妊去勢手術の施術』の指導は。
- 2 TNR（トラップ：捕まえる・ニューター：不妊去勢手術・リターン：元の場所に戻す）は地域の理解と協力が必要だが、『地域ねこ』対策への取り組みは。
- 3 餌やりトラブル防止策としてボランティアと協力し『餌場』の設置は。
- 4 『飼い主のいないねこ不妊去勢手術補助制度』の効果を上げるための増額は。
- 5 『飼い主のいないねこ保護シェルター』設置の考えは。

【地域教育推進事業について】

わが町では、地域の子どもを地域で豊かに育てる活動の推進を図っている。

中でも、住吉わっぱくらぶ・かわしりっ子わんぱくサークル・片岡きらめき塾・自彊わくわく教室の4地区における活動、また、合同活動の継続かつ発展がここ数年の効果として見られる。

これは、地域ボランティアの子どもたちの健全育成に寄せる熱意と行動、また、社会教育専門職員による支援の相乗効果と私は考える。

さらに、子どもたちの健全育成のあるべき姿を考えた時、現在実施している家庭教育学級や教育推進事業、また、地域教育活動などのさらなる充実・強化を図っていく必要があるのではないか。

そこで、現在、1名配置している社会教育専門職員は来年度も配置するかについて質問する。

【都市整備における都市景観について】

第4次吉田町総合計画、後期基本計画、第4章、都市整備、自然と調和した、人にやさしいまちづくりについて、住環境の分野では、景観の必要性があげられています。現状と課題には、近年美しい都市景観への住民のニーズが高まっており、住民と行政が一体となって魅力ある景観を形成していくことが求められているとあります。

後期基本計画の最終年度（平成27年度）を前に、榛南幹線、東名川尻幹線、富士見幹線、大幡川幹線、吉田港幹線、住吉幹線など幹線道路が整備され、吉田町の骨格が形成されつつあります。

今後は「美しい都市景観」を意識した都市整備を進めていかなければならないと思います。どのようなまちにしたいのか、どうなっていたいのか、そのためにどのように将来に繋げていきたいのか、明確なビジョンを持って都市計画を進めなければなりません。

東名川尻幹線は、美しい道路としての開通を待っています。沿線には図書館やすみれ保育園、中央小学校があり、東名インターにつながります。

新しい主要幹線道路として重要な役割をもっていると思います。また、統一された看板や意図されたまちなみなど、美しい景観を備えた道路として将来に繋げることが必要ではないでしょうか。

吉田町を訪れた人に感じていただく印象は大事なことです。また地域計画も明確になってきたような気がしますが、どのように計画するのも重要なことであると思います。

そこで効力を発揮するのが景観条例です。景観法は都市計画策定の重要な指針となると思い、大きな期待を寄せるものであります。政令指定都市、中核都市は自動的に景観行政団体になりますが、その他の市町村は都道府県との協議・同意により景観行政団体になることができます。

ちなみに、焼津市は平成26年3月1日に、島田市及び藤枝市は平成26年4月1日に景観行政団体になりました。吉田町にも期待を寄せるものであります。そこで質問します。

- 1 第4次吉田町総合計画、後期基本計画での平成27年度の目標値、良好な街並みが形成されていると思う割合の34.0%を現在はどうのように考えていますか。
- 2 まちが考える良好な景観とはどのようなイメージですか。
- 3 国道150号沿線は無計画な商業用看板であふれていますが、東名川尻幹線は計画的に統一された看板等を設置し、美しい街なみを将来に繋げたいと思います。どのように考えますか。
- 4 吉田町の隣接市は景観行政団体となりましたが、町は必要性をどのように考えていますか。

5	議席番号 12番	藤田 和寿 議員	開始予定時刻 9月18日 午後2時
<p>【過去最高額の174億円を執行した町の今後の財政状況について】</p> <p>東日本大震災以降、スピード感をもって全力で取り組んできた「津波防災まちづくり事業」の第1ステップである「町民の皆さまの命を守る対策」について、平成25年度末までの2年間で15基の津波避難タワーを完成するなど、多くの事業を執行された。</p> <p>特に、平成25年度決算は、58億円の繰越事業を含む174億円の歳入と170億円の歳出結果であり、その平成25年度決算に基づく吉田町健全化判断比率の状況は、早期健全化基準を大きく下回る比率であった。</p> <p>また、平成26年度においても、懸案の住吉工業用地の売却が決まるなど、第2号補正後の予算総額が113億円と「津波防災まちづくり事業」といったハード政策に加え、「子育て」「教育」「健康づくり」といったソフト政策にも重点を置いた積極的な事業展開を図られている。</p> <p>そこで、財政状況について以下町長に質問する。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 吉田町健全化判断比率の推移状況から、3.11以前と以降の財政規律の成果により良好と判断している。 今後の財政規律内容に変化はあるのか。 2 今後の財政シミュレーションをどのように考えているか。 3 現在の財政状況を踏まえ、今後の予算編成に当たり、施策方針は。 			